



三原市長
天満 祥典

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申しあげます。また、本市行政に格別のご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申しあげます。

いよいよ本年2月から、瀬戸内三原築城450年事業のメイン期間が始まります。11月までの約10カ月間、市内では市民の皆様が改めて三原の歴史と文化に触れられ、その素晴らしさを実感していただける行事が多数開かれます。ぜひ、積極的にご参加いただき、三原の魅力を再認識していただくとともに、市外からお越しになるお客様を皆様でもてなしいただくようお願い申し上げます。市もこれを契機に、新たな観光メニューの開発や戦略的な情報発信、広域連携による誘客などを通じ、「観光のまち、三原」の実現に向けて一層注力してまいります。

昨年は地方創生の実現に向け、三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる「働く場づくり」「交流人口拡大」「子ども・子育て充実」「市民の健康づくり」「住み良き向上」に着手した年となりました。本年はその取り組みを前に進め、三原のまちが明るく元気になるよう、これら5つの目標へさらに果敢に挑戦してまいります。

市民の皆様とともに考え、知恵を出し合いながら、一歩一歩着実に輝かしい未来へと進めてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が市民の皆様にとって、幸せで素晴らしい年となりますよう心からお祈り申しあげ、新年のごあいさついたします。

新年のごあいさつ



三原市議会議長

梅本 秀明

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。また、平素は議会活動に温かいご指導とご理解を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本年は小早川隆景公が三原城を築城して450年の節目の年であり、これを記念する事業として2月から11月まで、市内でさまざまな行事が催されます。この事業を契機に、市民の皆様が三原の魅力を再認識され、市全体で集客基盤の構築と三原のブランド化を進め、「観光のまち、三原」の実現をめざしていきます。

一方、市の財政は、人口減少や高齢化、市内経済の伸び悩みなどで歳入増加が見込めない中、新庁舎や新消防本部庁舎の建設など大型事業の推進、社会保障費の増加などにより、引き続き厳しい状況にあります。議会といたしましても、厳しい中でも市民の皆様が夢と希望にあふれ、幸福を実感できるまちにするため、全力を注いでまいります。

そのためにも、議員は市民の代表として、その負託にしっかり応え、市全体の利益を最大化できるよう、建設的な議論を行なってまいります。そして、積極的に情報を公開・発信し、市民に分りやすく開かれた議会、市民とともに進める議会の実現に努めてまいります。

今後とも市民の皆様からの幅広いご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸多く、大いなる飛躍の年となりますことをお祈りし、新年のごあいさついたします。